

山形県 戸沢村

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

とざわむら 議会だより



2p 9月定例会 平成29年度歳出総額53億6,885万円を認定

3p 常任委員会報告 産業建設・総務文教 みんなの請願・陳情

4・5p 平成29年度 一般会計決算審査・特別会計決算審査

6~11p 一般質問 5議員が登壇し、村政を問い正す！

12・13p 戸沢中3年生 村への提言 36名が戸沢村への提言を発表！

14p 大家族だよ！全員集合！！ 編集後記・議長杯グラウンド・ゴルフ大会結果

2018 No.129

2018年9月定例会



8.5豪雨災害箇所の巡回（8.10）

産業建設

常任委員会報告

8月は数十年に一度と言われる豪雨に見舞われ、5日・6日の被災状況を把握すべく、委員会のみならず議会として、特に被害の大きかった、県道戸沢大蔵線の三ツ沢地内の道路流出箇所、元屋敷の住宅の裏山の土砂崩落現場、沢内川の氾濫箇所、冠水被害をもたらしした蔵岡排水機場のその後を8月10日に視察巡回し、被害の甚大さを認識したところであります。

落ち着きを取り戻しつつあった8月30日には、

総務文教

自ら学び、考え、実践

村民フォーラムが、10月13日開催され、開会行事では（いじめ標語、PTA感謝状、教育委員会）表彰が行われました。第一部では、子供発表

北部を中心に豪雨に見舞われ、9月4日に再び議員団として濁沢、神田、野口、杉沢の河川の氾濫や村道の被災、崖地の崩落、農地の被災状況を視察巡回しました。更には二度の浸水被害を受けた蔵岡地内を再度の視察巡回を実施しました。度重なる豪雨災害の対応として、議会では県選出国会議員や関係各所への要望活動を通じて早期の災害からの復旧に尽力し今後も活動してゆく事を議員全員が心を新たにしたいと考えています。



戸沢小5・6年による合唱(村民フォーラム)

みなさんの請願・陳情

事 件 名	提 出 者	請願・陳情の要旨	採択理由	継続審査(理由)
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	兵庫県伊丹市北伊丹1-75 移植ツーリズムを考える会 理事 井田 敏美	臓器移植の普及によって薬剤や機械では困難であった臓器の機能回復が可能となり、多くの患者の命が救われている臓器移植を安全で身近なものとして定着させるため、早急な対策、環境整備が必要と考えるため陳情します。	臓器移植を安全で身近なものとして定着させるため。	
日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	新庄市千門町1-38 生活協同組合共立社新庄生協 地域理事会議長 岸 昌子	核なき世界の実現は、被爆者、日本国民、そして全世界の人々の切なる願いです。地球上から核兵器をなくすことが唯一、平和への道であることを信じ、政府が核兵器禁止条約に署名、批准することを強く求めるため請願いたします。		調査検討を要するため。
被災者生活再建支援法の改正を求める意見書提出の請願について	最上郡戸沢村大字古口2939-2 戸沢村労農協議会 議長 影澤 智志	近年は土砂災害が発生しやすい状況となっており、被災した住民の生活再建には特に住宅再建に対する手厚い支援が求められ、生活の安定と被災地の速やかな復興に資するよう、国の更なる支援及び制度の拡充が必要なため請願いたします。	住民の生活安定と被災地の速やかな復興に資するため。	
学校施設への冷房等空調設備の設置促進を求める意見書提出の請願について	最上郡戸沢村大字古口2939-2 戸沢村労農協議会 議長 影澤 智志	財政力の乏しい自治体は学校施設への冷暖房設備の設置に慎重なところも多く、都道府県ごとに格差が生じています。学校は、子どもたちが一日の大半を過ごす教育の場であり、国は環境の整備を行う責務があるため請願いたします。	国の宝である子どもたちが集中して学習できる環境を整備するため。	
種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願	山形市大字門伝字裏城1番地 農民運動山形県連合会 会長 小林 茂樹 最上町大堀313 最北地方農民連 会長 二戸 正	農家の生産意欲・品質向上に大きな役割を担う種子の安定確保は、今後ますます重要になります。試験場等の取り組みが後退しないよう予算措置の確保を行うこと。地域の共有財産である種子を民間に委ねないよう対策を求めるため請願します。	農家の生産意欲と品質向上に資するため。	
水道民営化を押し進める水道法改正案の成立に反対する意見書提出の請願について	最上郡戸沢村大字古口2939-2 戸沢村労農協議会 議長 影澤 智志	国民の生命と生活に欠かせない水道事業は民営化になじまず、すべての人が安全、低廉で安定的に水を使用し、衛生的な生活を営む権利を破壊しないよう求めるため請願いたします。	安全、低廉で安定的に水を使用し、衛生的な生活を営む権利を守るため。	

平成29年度各種会計

歳出総額53億6,885万円を認定

平成30年

9月
定例会

補正予算

☆平成30年度 戸沢村一般会計補正予算(第3号)

補正額18,000千円を減額 補正後の予算額5,050,000千円

●主な補正内容(歳出)

総務費	南部地区地域振興センター管理費	3,200千円
	ふるさと納税事業	△96,000千円
	高麗館・ぼんぼ館施設管理費	7,000千円
	ふるさと応援基金	△44,000千円
民生費	子ども・子育て支援事業計画策定外	3,260千円
農林水産費	林地台帳整備業務外	4,572千円
土木費	道路建設・JR高屋駅歩道橋撤去負担	20,900千円
教育費	学校管理・旧施設管理	4,965千円
	生涯学習施設運営管理外	5,736千円
災害復旧費	8月豪雨災害対策	12,000千円
	農林水産業施設災害復旧費	50,300千円

☆平成30年度 戸沢村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正額1,917千円を追加 補正後の予算額12,917千円

●前年度決算より繰越金の増に伴う予備費へ計上

☆平成30年度 戸沢村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額1,313千円を追加 補正後の予算額54,313千円

●主な補正内容(歳出)

後期高齢者医療システム改修委託	470千円
一般会計繰出及び予備費へ	843千円

☆平成30年度 戸沢村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正額7,789千円を追加 補正後の予算額248,789千円

●主な補正内容(歳出)

需用費及び委託費外	113千円
基金積立・繰出及び予備費へ	7,676千円

☆平成30年度 戸沢村公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

補正額2,946千円を追加 補正後の予算額92,946千円

●主な補正内容(歳出)

委託費	1,333千円
繰出及び予備費へ	1,613千円

☆平成30年度 戸沢村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

補正額2,337千円を追加 補正後の予算額129,337千円

●主な補正内容(歳出)

修繕費	700千円
繰出及び予備費へ	1,637千円

☆平成30年度 戸沢村介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正額7,059千円を追加 補正後の予算額681,059千円

●主な補正内容(歳出)

一般管理・介護予防生活支援サービス事業費	1,912千円
返還金及び予備費	5,147千円

9月定例会は18日から25日までの8日間の会期で行われた。報告事項4件、平成30年度補正予算7件、平成29年度各会計歳入歳出決算の認定7件、条例関係2件、工事請負契約等1件、人事案件2件が提案され、全議案を可決した。
一般質問には5議員が登壇し、8月豪雨の村内各所にわたる被害状況から今後における対策や安心・安全な村づくりにつながる内容で、全議員が討論をした。



ふるさと納税返礼品（一部）



JR高屋駅歩道橋

Q 収入未済額が10％で非常に大きい額です。該

簡易水道事業

A 対象者は一名で、自己破産されて本人死亡し無財産のため不納欠損処分しました。

Q 国民健康保険税の不納欠損処分の経緯は。

国民健康保険

平成29年度 特別会計決算審査

Q 村内に四介護施設があり、入所希望者で待機

介護保険

A 平成27年4月に下水道法が改正され、事業計画の見直しが義務化され、より正確な計画を作り、今後老朽化した場合、国の交付金事業を得る場合こうした計画が必要になるため。

Q 下水道事業計画改正業務委託料とあるが、その内容は。

公共下水道事業

A 規定により、20日経過した人へは督促状を出し更に督促し、それでも納めない方へは給水制限もやっています。

Q 徴収に向けた取組み状況は。

A 20万以上の大口で30万で大半が過年度分であり、前年度の収納率は97.4％です。

当する人数とその内容は。

者数は何人か。

A 40数名待機者がいます。優先順位をつけて、



監査委員報告（意見）青柳孝一代表監査委員

監査意見（抜粋）

本村の財政構造は、村税をはじめとする自主財源比率が21・3％で、それ以外は地方交付税等の依存財源に頼らざるを得ない依存財源比率が高い状況で、村税の収納率向上が自主財源確保の課題となります。

財政分析指標は、財政

構造の弾力性を示す経常収支比率が85・9％で、前年度より4・8ポイント上がりました。財政構造の弾力性を失いつつあり財政の硬直化が懸念され、財政事情の厳しい状況を示しています。

今後も経常経費の一層の抑制に努め、財政構造

施設に空きが出たら、緊急性の高い人から順に入所してもらう。

平成29年度 一般会計決算審査

平成29年度 一般会計・特別会計 決算（単位：千円）

※歳入歳出とも千円未満は、四捨五入。

区 分		歳 入			歳 出		
		29年度決算額	28年度決算額	増減額	29年度決算額	28年度決算額	増減額
一般会計		4,440,168	4,889,666	▲ 449,498	4,191,047	4,577,741	▲ 386,694
特 別 会 計	国民健康保険	12,470	34,162	▲ 21,692	10,466	33,345	▲ 22,879
	後期高齢者医療	49,584	45,856	3,728	47,946	44,795	3,151
	簡易水道事業	235,112	238,630	▲ 3,518	226,661	229,946	▲ 3,285
	公共下水道事業	95,872	96,462	▲ 590	91,549	93,057	▲ 1,508
	農業集落排水事業	129,383	136,726	▲ 7,343	125,240	130,842	▲ 5,602
	介 護 保 険	685,492	675,704	9,788	675,945	654,001	21,944
合計（一般・特会）		5,648,081	6,117,206	▲ 469,125	5,368,854	5,763,727	▲ 394,873

質疑の主な内容

Q 不納欠損額処理状況の内容と収納対策委員会の対応や委員会の回数は。

A 破産宣告や無財産あるいは、村にいない、病気、死亡等の内容です。委員会は3回開いているが、今後コンビニでの収納も検討していく時期と思っています。

Q 使用料の未済額が増えている現状をどう捉えているか。又、何件か。

A 10件で、大きい人で200万円と高額になっており、今後も同じでは困るので、福祉も含めて検討していく。

Q 国や県の補助事業等は、ホームページで村民へ周知するべきではないか。

A 補助事業全般においては、村民へは伝わっていないと思うので、今後考えるべき事と思います。

平成29年度村税の決算額と収納率

区 分	決算額（千円）	収納率（％）
村 民 税	131,027	96.0
固 定 資 産 税	184,019	92.3
軽 自 動 車 税	16,412	96.9
た ば こ 税	26,668	100.0
入 湯 税	3,421	100.0
合 計	361,547	94.4
収 納 率	平成28年度	94.7
	平成27年度	94.5
	平成26年度	94.8
	平成25年度	92.4

※斜め矢印（記号）は、前年度から見た収納率の増減。

Q ふるさと納税の返礼品について、マスコミに取り上げられていましたが、実際はどうなのか。

A 地元産でないものを返礼品に入れたので取り上げられてしまいました。が、現在はやめており今は、地元産（バナナや豚肉）等を使っていると考えております。

A 特別な診察はないと思いますが、制度としてあるようです。

Q 風邪等で診察を受けた際、妊婦の診察代金に加算されているようですが、村はどうしているか。

納対策に取り組み、収納率の向上に努力されており、引き続き、「公金収納対策委員会」による収納対策をより一層強化し、収入未済額の圧縮・不納欠損処分額の減少に努めることを要望します。

3. 財産管理と運用

村有財産については、処分も含めて財産の適正な維持管理と有効かつ有利な運用が求められ、空き校舎や空き保育所をどのようにに活用していくのか、早急な計画策定を要望します。

最後に、今後の村政運営は、少子高齢化や過疎化が進行する、厳しい財政状況の中で、対応しなければならず、将来の村の歩むべき道をしつかりと位置づけ、限られた財源を最大限効果的、効率的に活用し、住民サービスのより一層の向上に貢献するため、引き続き村民の福祉の向上と村政発展に寄与されるよう、より一層のご尽力を期待します。

2. 収納対策

収入については、経済動向に左右される面があり村税、使用料、負担金の収入未済額が増加し続ける状況下では、自主財源の根幹をなす村税等の収入確保が最優先課題であります。

関係各課で連携して収

一般質問

蔵岡地区
内水洪水災害について

早坂 信一 議員

問 蔵岡地区内の内水による洪水被害を二度と発生させない対策について伺います。

村長 過去最大量の豪雨でありポンプ方式以外での抜本的対策が必要であり国、県に要望している。

問 二度と発生させない対策を聞いている、答えになっていない。

村長 これからも関係機関に要望していく。

問 他力本願では何も変わらない、首長としての会議体に入って意見をいふべきではないか。

村長 検討していきます。

問 角間沢川の分水による集落外での新たな排水場の設置、護岸、築堤工事が必要と考えます。いかがでしょうか。

村長 国、県の考え方を

聞き対応していきます。

問 土砂が溜まって稼働できない、停電で稼働できないなど悲惨な状況から国会議員も人災と言っている。人災ですか。

村長 私の立場ではお答えできない。

問 古口地区内の洪水被害を二度と発生させない対策について伺います。

村長 ポンプ車の追加配備、排水機場の能力向上、特殊堤防の大規模改修調査も国に要望していく。

問 最上川の水位が5mを越えたら古口は洪水危険水域になると考えます。この時点で住民の皆さんに防災無線で警報を出し排水ポンプ車も配備すべきだと思いますがいかがでしょうか。

村長 各機関と内容について検討致します。

古口地区内水
洪水災害について

8.30 蔵岡地内 排水ポンプ場附近の洪水状況

角川地区内県道崩落
通行不能について

問 角川の県道崩落を二度と発生させない対策を

村長 伺います。県道崩落については改修を県に要望、土砂災害については林野庁に砂防提の満砂状態の解消を要望していく。

クラウドファンディングについて

問 クラウドファンディングを活用した村づくりが必要と考えますがいかがでしょうか。

村長 プロジェクトチームの結成など課題も多く今後検討します。

投資的政策について

問 新庄市で取り組んでいる市内循環バス及び看護師養成学校には村の将来を考え積極的に財政投資をし交通弱者の保護、若者定住率増進をめざすべきと考えるがいかがでしょうか。

村長 公共交通会議で判断する。看護師学校は生徒募集等を応援していく。

村政を問い正す！
5名の議員が一般質問

一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

8.5 角川(滝ノ下)地内 土石流による山地崩落

質問順1番

加藤政一 議員
(8ページ)

- ・ 8月5日の豪雨災害を検証して今後の安心・安全な村づくりに、どう取組んでいくのか
- ・ 国会で働き方改革法案が成立した事をうけ、村としての考えは

質問順2番

早坂信一 議員
(7ページ)

- ・ 蔵岡地区内の内水による洪水被害を二度と発生させない対策は
- ・ 古口地区内の内水による洪水被害を二度と発生させない対策は
- ・ 角川河川域に隣接する県道崩壊を二度と発生させない対策は
- ・ 大量土砂流入による通行不能原因と対策は

質問順3番

富樫義人 議員
(10ページ)

- ・ 集中豪雨対策本部としての取り組み認識はどうなっているか
- ・ 排水施設の在り方について
- ・ 出舟・皿嶋築堤について
- ・ 避難指示・避難場所の在り方について

質問順4番

田中 奨 議員
(9ページ)

- ・ 土砂崩れや決壊した村道と県道戸沢大蔵線の復旧の見通しは
- ・ 水稻等農作物への被害額見込みとどのような支援策があるか
- ・ 南部地区に山崩れが多く発生し、今後の対策や復旧支援はあるか
- ・ 河川氾濫の原因となった堆積土の除去について、村の考えは

質問順5番

岡田孝一 議員
(11ページ)

- ・ 豪雨災害、避難指示発動に伴う初動並びに対策本部体制について
- ・ 深夜における避難指示の伝達方法
- ・ 避難指示が発動された地域にある役場に本部を設置する正当性は
- ・ 本部移設ができる体制が図られているのか

一般質問



田中 獎 議員

早急な復旧工事を！



8.5 県道戸沢大蔵線決壊(三ツ沢地内)土砂流出と河川氾濫

問 8月5日の豪雨災害で土砂崩落や決壊した村道や、県道戸沢大蔵線の復旧はいつ頃になるのか。

村長 村道の復旧は、補助災害に計上している箇所は、11月頃に査定の予定ですから、冬期間に入ることから次年度へ繰越す箇所もあります。戸沢大蔵線は、今年中に大型車の通行可能となり、完全復旧は年度内の見込みと伺っております。

問 農業被害への支援策は

村長 農作物の被害額は、水稻で970ha程度の冠水被害があり、被害額はおよそ3億3千5百万円と見込んでおり、8月30日からの2度目の豪雨被害額は9千2百万円です。

支援策として病害虫蔓延防止農薬等購入費の支援、(パブリカやトマト、エゴマ等)重点振興作物

問 河川の氾濫と山崩れによって、水稻等農作物への被害が大きいが、被害額は。又、生産意欲を失うことのないような支援策と対応を伺います。

村長 今回の豪雨により、角川、沢内川、濁沢川で河川災害が発生しており、角川は道路の復旧工事に伴い除去を申し入れたと考えています。県として除去をしてはいますが、残土の捨て場の問題もあり、進捗していかないのも事実で、あらゆる機会に窮地を訴え優先順位を上げていただくよう働きかけを行っていききたい。

問 8月5日の豪雨災害で土砂崩落や決壊した村道や、県道戸沢大蔵線の復旧はいつ頃になるのか。

村長 村道の復旧は、補助災害に計上している箇所は、11月頃に査定の予定ですから、冬期間に入ることから次年度へ繰越す箇所もあります。戸沢大蔵線は、今年中に大型車の通行可能となり、完全復旧は年度内の見込みと伺っております。

問 南部地区において、民有地の山崩れが多く発生しており、今後の対策や復旧支援はあるのか。

村長 南部地区では、民家の裏山が崩壊し大変危険な所や、至る所で山崩れが発生しており、県最上総合支庁が現地調査の上、災害関連緊急治山事業の採択を申請しております。

が水害により50%以上の減収に対する、収入減収見舞金で支援策を予算化したところだ。

安心・安全な村づくりに向け、豪雨災害の検証を

一般質問



加藤 政一 議員

問 8月5日の豪雨災害を検証し、今後の安心・安全な村づくりにどう取り組んでいくのか。

村長 今回の豪雨災害では、防災計画及びマニュアルに従い対応にあたりましたが、瞬時にかつ徐々に判断を迫られる中、計画どおりとはいえない場面も多々あり、今後総括するなかで明らかにしていきたい。

一例を挙げると、「避難勧告が夜間・未明になる場合は、避難準備情報発令(要配慮者避難)」とありますが、現実には午前零時34分村内全域に避難勧告発令となり、深夜、突然の勧告、かつ停電のなかの避難の際、人的被害がなかったことを心より感謝申し上げます。



8.5 古口地内(裏町) 内水による水害状況

この対応を住民の皆さんがどのように感じ、どのように受け止めているかが今後の防災・減災対策において重要と考えています。消防団、自主防災会連絡協議会の諸会議や、ハザードマップの策定過程での各地区会との懇談等で集約して行きます。

問 古口地区、蔵岡地区堤防の嵩上げを含めた強靱化と、古口排水機場の配水能力の大きいポンプ

への更新、蔵岡角間沢川の抜本的な改修にむけ、国や県に要望すべきでないか。

村長 同じ事を繰り返さない様に、国や県に対して要望活動をしています。蔵岡地区については、県も動いており、何らかの方向性が出て来ると聞いており、議会側と一緒に村としての要請活動に万全を期して行くのでよろしく願います。

議会日誌(7月～9月)

7月

- 1日 戸沢村消防操法大会
- 2日 広域事務組合7月臨時会
- 9日 新庄河川事務所要望議会広報常任委員会
- 10日 県町村議会正副会長 理事会
- 11日 山大生と町村議会議長会との意見交換会
- 12日 中央要望(選出国議員外)
- 13日 最上地域保健医療対策協議会
- 15日 新庄古口道路津谷古口開通式
- 17日 克雪技術協議会総会
- 18日 7回庄内町地域連携フォーラム
- 20日 7月例月出納検査
- 22日 最上地域ふるさと連合会訪問
- 23日 県への実行運動
- 24日 中央への実行運動・陳情
- 25日 決算審査
- 27日 新庄湯沢間建設促進ビジョンフォーラム
- 31日 舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会総会決算審査
- 県自治会館管理組合議会

8月

- 1日 北方領土返還要求山形県民大会
- 3日 県後期高齢者医療広域連合全協・7月定例会
- 5～6日 清流園・まごころ荘夏祭り
- 8月豪雨(甚大な被害)
- 8日 県監査委員協議会臨時総会・研修
- 10日 議員全員協議会(災害巡回)
- 15日 戸沢村成人式
- 20日 最上県勢懇話会
- 24日 奥羽・羽越両新幹線整備実現同盟促進大会
- 29日 例月例出納検査
- 30～31日 議員全員協議会・第4回臨時会
- 3日 豪雨

9月

- 3日 最上地方市町村議長会例会
- 4日 議員全員協議会(災害巡回)
- 6日 相撲大会(小学校)
- 11日 議会運営委員会
- 14日 議員全員協議会
- 18～25日 遺族会追悼式
- 25日 9月定例会・決算特別委員会
- 26日 庄内最上両地方町村議会議長合同会議
- 27日 例月出納検査
- 28日 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
- 中3学年生「村への提言」
- 国道沿線街頭指導(交通安全)

一般質問



岡田 孝一 議員

古口地区は、平成29年水防法改正による想定最大水深が10m、浸水継続

時間が72時間と想定で役場一階が三日間水没することになります。



8.30 神田地内 民家法面崩落現場の確認

豪雨災害への対応は？



8.30 写真左側は濁沢川で、堆積土砂や支障木により農地への氾濫を確認

今般発生の中雨災害に伴う避難指示や対策本部の初動体制を伺います。

非常事態の伝達手法にサイレン使用を検討します。

避難場所には、体調不良の方から赤ちゃんまで様々な方々が避難されています。

実施すべきと思います。

集中豪雨対策本部としての取り組みや認識は？

一般質問



富樫 義人 議員

戸沢村は最上川と共に栄え、又、最上川の氾濫により何度となく苦しんできた経緯があります。



8.5 豪雨水害後に対策された皿嶋地内



8.5 内水による役場駐車場からの古口地内

の整備よりも抜本的な排水対策が必要であり、また、古口排水機場において、排水ポンプ車の追加配備、建設協会所有の水中ポンプの配備等の対策を講じる必要があると考えております。

の非常用発電設備については、本年7月17日に実施した重要水防箇所合同巡視の際も、消防団長、蔵岡地区会長、所管課がそれぞれ非常用発電装置に言及しており、早急に整備するよう要請しているところだ。

出舟、皿嶋築堤について伺います。

避難指示、避難場所の在り方は適正だったのか。

古口地区には安全な避難場所を確保していないと思うが今後の計画はあるのか。

戸沢中3年生 村への

去る9月27日に、戸沢中学校3年生36人による、「村への提言」の会が開催されました。小学校から合わせて9年間、地域の人々から学ぶ地域学習を続けてきた集大成として、学んできたことを基に、生徒達が自分の生まれ育った戸沢村がどのような村になって欲しいのか、そのために自分は何ができるのか一人ひとりが調査研究した成果と具体的なゴールを思い描きながら発表しました。この会は今年で5回目になります。

生徒達は地域の方々にアンケートや取材活動を実施し、生の声取り入れながら自分の思い描く戸沢村を数枚の大判用紙にまとめ、村会議員や各課長、教育委員会他多数の来賓が見守る中、堂々と発表しました。その姿は大変頼もしく感じられ、将来の戸沢村を背負っていつてくれるだろうと安心しました。発表のテーマは以下のように、自分の足下を見つめ、様々な視点で地域の課題に向き合っており、聞き応えがありました。紙面の関係で、一例を紹介します。



提言！

安食 優花さん
【災害時に岩花地区でできること】

今年の7月、甚大な豪雨災害に見舞われた広島県真備町に、行方不明者・死亡者ゼロの地域があった。非常時に備えて行っていた隣組制度、家族構成の把握、避難所生活の予行練習が功を奏したのだ。お年寄りが多く住む岩花地区にこのシステムを応用することで、災害に強い戸沢村を作っていきたい。

影澤 一成さん
【異常気象に悩む農家の打開策「B品販売」】

昨今の異常気象により、見た目の悪い「B品」と呼ばれる野菜が増えている。農業を営む村民の多い戸沢村では、このB品を資源として活用できるのではないだろうか。ジュースやジャムに加工して販売したり、格安で提供したりすることで多くの人に戸沢村の野菜のおいしさを知ってもらい、消費者も生産者も喜ぶ仕組みを考えた。



齋藤 慎之介さん
【猪・熊・猿などの野生動物と共生する戸沢村】

自然の多い戸沢村では、野生動物と遭遇する機会も多い。中でも熊は人間を襲うこともある危険生物だが乱獲すると生態系を崩してしまう。柵や電気網を設置して熊を人里に下ろさない工夫や、遭遇したときの対処法について地域ごとに確認することで、安心して生活できる戸沢村にしていきたい。

矢口 柚	新成人と帰省者による『津谷神社石段修復プロジェクト』を数年続けて、お参りに行きやすい津谷神社にする
森 楓歌	戸沢村の人口減少と少子化対策として、『戸沢村お見合い大作戦』を開催する
安食 大和	戸沢村からプロスポーツ選手を出すために、村と地域で選手を育成できる環境を整える
影澤 一成	形や色が悪いとして販売されない野菜の『B品』の販売市を開催し、異常気象でも生きていける農家の打開策を考える
大川 木葉	津谷祭をSNSを使ってPRし、戸沢の熱い夏祭をもっと熱くする
大山 茜	『ぼんぼ館』を有名にするために『ゆるキャラを』作る
加藤 舞	きれいな夕日が見られる『ぼんぼ館遊歩道』を整備して、『インスタ映えの場所』として紹介し観光客を増やす
石沢 美月	移動図書館をを作って、親子で本に親しむ時間を増やす
小林 東子	野良猫に関するトラブルの対策として、異常繁殖を止める方法を考える
山科 祐月	若者センターの利用者を増やすために、野球場と陸上競技場を整備する
山科 美咲	数年前に無くなった『岩清水祭』を復活させて石清水地区の『にぎやかさ』を取り戻す
高橋 夢羽	運営が苦しくなっている戸沢村各地区の祭を存続させるために、数年に一回『戸沢村合同祭』を開催する
岸 健太	道幅が狭い津谷十字路～旧戸沢小の混雑解消のため、農道兼歩行者自転車道路を津谷から中央公民館まで通す
斉藤 碧夢	旧小学校跡を利用して、子供達が遊ぶことのできる環境を作る
早坂 悠生	角川で営業している『すっぺや』で、角川の魅力満載の新メニューを考えて宣伝する
小林 優斗	高規格道路開通後に衰退が予想される蔵岡地区の活性化するために、高麗館側に最上川舟下りの発着点を作る
星川 悠奈	高麗館を活性化させるために、大人から子供まで参加できるイベントを実施する
中鉢 伶	運営が厳しくなっている戸沢村各地区の夏祭の負担を小さくするために、コンパクトで勢いのある戸沢村合同祭を実施する

佐藤 ころこ	『巨木・森林王国戸沢村』をにぎやかにするために、自然林や間伐材を使っていろいろなものを作る
荒木 魁	松坂地区に建設が検討されている養豚場が、住民と共生できるようにするために悪臭のしないものにするための手立てを考える
齋藤 慎之介	熊・猿・猪の害に悩む戸沢村の山里で安全に生活する方法を、角川地区を例にして考える
芳賀 愛香	「お年寄りが困っていることは何なのか?」。お年寄りの希望に応えることができるボランティアのありかたについて考える
安食 咲良	各地区で行なわれている健康に関する高齢者交流に子供も参加し、子供からお年寄りまで生き生きと過ごすことができる戸沢村を考える
高山 明日香	高齢者と若い人たちが交流するイベントを企画する
黒坂 怜央	年々児童数が減る戸沢小と鮭川小で交流学习を実施して、少人数だからできない活動を無くする
岡田 琉音	高齢者の交通事故を減らすためにデマンド型乗り合いタクシーの利用者を増やし、高齢者が運転免許を返還しても案して村内を移動できる環境をつくる
中鉢 偉落	戸沢村の旅行プランを作って多くの人に戸沢村を知ってもらう
佐藤 雅	戸沢村について詳しく知っている方を「村内案内ガイド」として、あまり知られていない「戸沢村の穴場」を巡るツアーを行なって戸沢村の良いところを再発見する
高山 雛瑞	戸沢村に観光客を増やすために角川地区に自然を生かしたキャンプ場を作る。
富樫 海翔	高規格道路工事や里山の荒廃で熊の出没が増えてきた。野生動物と共存するために『熊牧場』の運営または他県の熊牧場と連携することはできないか
門脇 紅葉	高齢者への取材から向名高地区の『冬道危険箇所マップ』を作り、高齢者が安心して冬道を歩ける環境整備を考える
早坂 美空	古口祭を存続させるために、古口出身の帰省者や祭ボランティアの協力をSNSで呼びかける
八鍬 光	中央公民館付近の遊具・グラウンド整備をして、子供や老人が集まって一緒に過ごせる憩いの場を作ることとはできないか
松田 伯斗	多くの村民に利用されている戸沢学園体育館の夏場の結露対策を考え、安全に利用できる方法を考える
柿崎 郁弥	年々多くなる外国からの旅行者に対応できるように、英語・韓国語・中国語・タガログ語等外国人向けのパンフレットを、地域の力でつけれないか
安食 優花	西日本豪雨で死傷者0だった地域の防災対策を参考にして、岩花地区でできる災害対策を考える。



大家族だよ!全員集合!!



神田地区

岸 啓市さん宅

◎三代 9人家族です。

◆楽しいこと

ひ孫さんを中心に家族で賑やかに暮らせること。

◆大変なこと

食事の時間がまちまちなこと。(仕事の関係)

◆家族円満の秘訣

女性同士が連絡を密にし、お互いに、あまり干渉しないこと。

表紙の言葉

戸沢学園の文化祭が、10月28日に小・中学校合同で開催されました。児童、生徒が、心一つにして取組んでいました。写真は、小学二年生による、劇の一コマです。各学年の発表に会場の皆さんから、大きな拍手と声援が送られ、大いに盛り上がりました。

◎女子の部

1位 柿崎 ヨシ子さん
2位 庄司 初江さん
3位 木村 ハナ子さん

◎男子の部

1位 庄司 壽信さん
2位 高橋 孝利さん
3位 大友 安弘さん

◎総合優勝 庄司壽信さん

議長杯グラウンド・ゴルフ大会が10月7日、雨天の中開催されました。結果は、次のとおりです。

グラウンド・ゴルフ大会結果

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

12月5日(水)から7日(金)

本会議は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局72-2113にお問い合わせください。

編集後記

今年は八月の二度にわたる、未曾有の大水害では村全体に大きな爪痕を残してしまいました。

九月定例会では、多くの時間を費やし、復旧対応や今後の安心・安全な村づくりを話し合ったところです。

今後も前進できる戸沢村に向けて議員一同努力して参ります。

岡田 孝一



豪雨災害により2ヶ月ぶりに運転再開の陸羽西線古口駅で